

在宅医療・介護連携推進協議会	協議資料
令和元年 11 月 29 日	
市役所 302 会議室	

平成 31 年度 第 3 回
立川市在宅医療・介護連携推進協議会
協 議 資 料

令和元年 11 月 29 日（金）

立川市 福祉保健部 高齢福祉課

広報たちかわ 10月10日号について	
内容	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">イベント周知</div> <ul style="list-style-type: none"> ・市民向け 医療について学べる講座 (災害医療センター、立川病院ほか) ・看取り支援講演会 など <p>* その他、主な掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸のために(たちかわ健康体操お届け便、体操いろいろフェスタ) ・介護予防教室 ・介護保険、高齢者サービスに関する問い合わせ窓口の紹介
次号発行予定	<p>次回の在宅医療・介護連携推進特集の掲載は、令和2年4月25日号特集ページ(介護保険のお知らせ)を予定しております。来年度前半に実施予定の講座など、掲載希望内容は2月の協議会にて伺います。</p>

住み慣れた地域でいつまでも私らしく ～在宅医療と介護予防

市は、いつまでも住み慣れた地域で生活が続けられるよう、在宅医療と介護連携の推進や介護予防、認知症施策等に取り組んでいます。

☎高齢福祉課介護予防推進係・内線1471

医療について学べる市民向け講座

いずれも要予約会場へ。

内容	日時・会場・問い合わせ先等
認知症について	☐10月24日(木)午後2時～4時 ☐災害医療センター ☎(526)5511
慢性腎臓病について	☐11月19日(木)午後2時～4時 ☐災害医療センター ☎(526)5511
認知症に関する講座	☐令和2年1月25日(土)午後2時～4時 ☐女性総合センター ☐190人(先着順) ☐立川病院 ☎(524)2438
黄血と造血機能	☐令和2年2月7日(木)午後2時～4時 ☐災害医療センター ☎(526)5511

健康に生きるための口腔ケア

☐11月20日(木)午前10時～正午 ☐総合福祉センター ☐歯科医師・金井克樹さん ☐300人(申込順) ☐南都西ふじみ地域包括支援センター ☎(540)0311へ

たちかわ健康体操お届け便

たちかわ健康体操の体験会です ☐「下表のとおり動きやすい服装、飲み物、タオル」いづれも前日までに、電話、または希望会場、氏名、電話番号を書いてファクスで立川市社会福祉協議会地域づくり係 ☎(540)0200 ☎(529)8714へ

看取り支援講演会

「幸せな人生だったと思えるような看取り」をテーマに、看取りについて理解を深めます。エンディングノートの配布も。

●暮らしの中で看取るとは ☐10月23日(木)午後2時～3時30分 ☐たましんRISURUホール ☐看取り部・秋山正子さん ☐200人(申込順) ☐南都西ふじみ地域包括支援センター ☎(523)5612へ

●「ピア まちをつなぐもの」上映会 ☐11月12日(木) 午後1時30分～3時30分 ▷午後6時30分～8時30分 ☐総合福祉センター ☐各50人(申込順) ☐南都西ふじみ地域包括支援センター ☎(540)0311へ

体操いろいろフェスタ

市内で活動する団体などのさまざまな体操を見て、聞いて、体験できます。健康と運動習慣をテーマにした基調講演も。直接会場へ ☐11月12日(木)午後1時～3時30分 ☐たましんRISURUホール小ホール ☐東京都健康長寿医療センター研究所・藤原佳典さんほか ☐200人(先着順) ☐立川市社会福祉協議会地域づくり係 ☎(540)0200

元気ハツラツ民謡教室

生演奏の尺八、三味線にあわせておなかの底から声を出して歌います ☐65歳以上の市民の方 ☐10月15日(木)午後1時30分～3時30分 ☐西砂会館 ☐30人(申込順) ☐にしな福祉相談センター ☎(531)5550へ

日時・会場

☐10月24日(木)午前10時～11時30分 ☐業輪会館
☐10月25日(金)午前10時～11時30分 ☐至誠まこと館(御076-26-15)
☐11月14日(木)午前10時～11時30分 ☐厚生会ビルフィットネスセンター(御01-23-25)
☐11月18日(木)午後2時～3時30分 ☐学研ココファン立川(御03-8-22)
☐11月19日(木)午前10時～11時30分 ☐天王様会館
☐11月19日(木)午前10時～11時30分 ☐東栄会公会堂(御05-5-3)
☐11月20日(木)午前10時～11時30分 ☐石花カフェ(美松町3-21-13 サンパーク立川地下1階)
☐11月21日(木)午前10時～11時30分 ☐砂川平和のろば(砂川町1-38-1)
☐11月25日(木)午前10時～11時30分 ☐富士見児童館

ご相談は…

在宅での介護や在宅医療に関することは、お近くの地域包括支援センターや福祉相談センターにご相談ください。



お気軽にご相談ください

認知症地域支援推進員(在宅医療・介護相談担当) 兵藤さん、水村さん

報告事項②

看取り支援事業(市民向け講演会・専門職向け研修)について				
看取り 支援 講演会 開催 実績 ・ 予定	①市民向け講演会 看取り支援講演会 15回実施済			
		日程	サブタイトル	講師
	1	5/22	あなたは大切な人に何を遺しますか	医師
	2	5/25	迷惑かけない生き方(逝き方)設計	医師
	3	5/31	在宅看取りはこわくない	医師
	4~6	6/3.4	映画「ぼけますからよろしくお願ひします」	映画
	7	6/15	みんなで学ぶ幸せな死に方 ～からだ編	医師
	8	7/4	自分らしい最期を迎えるための終活 ～医療編	医師
	9	7/22	みんなで学ぶ幸せな死に方 ～こころ編	僧侶
	10	9/27	看取ることによって手渡される命のバトン	看取り士
	11	9/28	看取りで得るもの いきたひ 看取り・命のバトン	映画
	12	10/10	自分らしい最期を迎えるための終活 ～相続編	相続診断士
	13	10/23	暮らしの中で看取るとは	看護師
	14	11/12	ピア まちをつなぐもの	映画
	15	11/20	健康に生きるための口腔ケア	歯科医師
	看取り支援講演会 今後の予定			
16、令和元年 12月4日(水) 13時30分～15時30分 幸学習館				
<後悔しない最期の迎え方 ～死に方のトリセツ～>				
立川在宅ケアクリニック 理事長 井尾 和雄 医師				
>わかば地域包括支援センター 申込制 120名				
②介護支援専門員等専門職研修 3回実施済				
	日程	内容	講師	担当包括
1	9/20	・看取りを考える～縁起でもない話を～ ・体験型プログラム ～死の体験旅行～	医師 相談窓口担当	さいわい
2	9/25	・看取りを考える～縁起でもない話を～ ・もしばなゲーム	医師 グループワーク	はごろも
3	11/28	・看取りを考える～縁起でもない話を～ ・接遇研修	医師 接遇講師	ふじみ
4	1/27	予定 ・看取りを考える ・懇談会	医師 グループワーク	わかば
5	1/28	予定 ・看取りを考える ・接遇研修	医師 接遇講師	かみすな
6	3/24	予定 ・看取りを考える ・接遇研修	医師 接遇講師	たかまつ

報告事項③

<p align="center">医療と介護の連携強化に関する介護支援専門員研修事業について (平成 30 年度開始 3 年間連続実施予定の 2 年目)</p>														
目的	介護支援専門員に義務づけられた、利用者に関して医療職と共有すべき情報 (訪問介護事業所等から伝達された情報・介護支援専門員自身が把握した情報)に ついて講義研修・現場研修を通して学ぶ機会を得る													
対象者	立川市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員 立川市内の地域包括支援センターに所属する介護支援専門員等													
内容	<p>■講義研修 5 回予定</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">日時</th> <th style="width: 20%;">曜日・時間</th> <th style="width: 15%;">項目</th> <th style="width: 45%;">内容</th> <th style="width: 10%;">会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10/28 11/27 12/2 1/15 2/26</td> <td>(月)または (水)の 18:30～ 19:30</td> <td align="center">講義研修</td> <td align="center">医療職(4名)とケアマネ との オープンディスカッション</td> <td align="center">立川市 医師会館</td> </tr> </tbody> </table> <p>■現場研修 12 回予定(参考: 以下は平成 30 年度研修協力機関)</p> <p>災害医療センター、立川病院、立川相互病院 ふれあい相互病院、立川在宅ケアクリニック、 さいわいこどもクリニック、若葉町デンタルクリニック @ (あつと) 訪問看護ステーション、にしき訪問看護ステーション ケアセブン訪問看護リハビリステーション砂川七番、 はる薬局、榎本調剤薬局</p>				日時	曜日・時間	項目	内容	会場	10/28 11/27 12/2 1/15 2/26	(月)または (水)の 18:30～ 19:30	講義研修	医療職(4名)とケアマネ との オープンディスカッション	立川市 医師会館
日時	曜日・時間	項目	内容	会場										
10/28 11/27 12/2 1/15 2/26	(月)または (水)の 18:30～ 19:30	講義研修	医療職(4名)とケアマネ との オープンディスカッション	立川市 医師会館										
実施	立川市・立川市医師会 (立川市医師会への委託事業)													

左記オープンディスカッションから表出された課題と対応策:

- ①(介護保険給付)軽度者に対する福祉用具貸与の流れ について再度周知します
- ②ケアマネ同士が有用な情報を共有できるよう工夫します

10/28 のオープンディスカッションで、下記の課題が表出されました。
市は、対応策として上記を提案し、すすめていきます。

課題① がん末期の、在宅療養希望の介護保険利用者が陥りやすい状況
退院前に医師が書いた意見書と、退院後にケアマネが面会した本人の身体状況が違いすぎるケースがあった(退院前は ADL が自立していたので要介護度が低くでていた)。特殊寝台を使用させたいが介護度が低いため申請できないと思っていたケアマネがいたようだ。

状況: →立川市ホームページやケアマネ研修(基礎研修)テキスト P35 に「軽度者に対する福祉用具貸与の流れ」の説明あり。
医師の医学的所見に基づき判断され、サービス担当者会議を経た適切なマネジメントの結果をふまえていると市が確認している場合には福祉用具貸与が可能となる。
無為にサービス利用を控えることなく、必要なプランニングをしていきたい。

内容

対応策:  ケアマネ各位に、制度が十分に周知されていない現状があるため、地域ケア会議と小地域ケア会議出席者を中心に事業所内でも共有を求め、立川市内全ケアマネに伝わるよう市が働きかけます。

課題② 立川市内のケアマネは横のつながりが薄い

立川市ケアマネ連絡会は組織されているが、幹事は輪番制で会長もおらず、「立川市のケアマネ全体の意見」が組織として集約されたり、会長発で情報が全体に共有されたりする環境ではない。ケアマネ全体の質の向上のためにも、有意義な知識は共有できる仕組みを作りたい。

状況: →数年前から課題として感じている。ケアマネ連絡会・研修の企画運営は、ふじみ包括が基幹型包括として運営を担っているが、より一層の共有の仕組みが必要と思われる。

対応策:  ケアマネ連絡会・研修会では、毎回市からの事務連絡の時間が設けられています。この機会を、市からの発信だけでなく、協議会や研修参加者等が有意義な情報を共有できる時間として使えるよう、市が働きかけます。

報告事項④

医療介護連携多職種研修”在宅療養実践講座 6 回コース”開催中				
目的	多職種が互いの制度や知識を理解し、課題について共通認識を深め、多職種が連携したサービス提供をスムーズに行えるようになる			
内容	・すべて水曜日の夜 18:30～20:00 に開催(内容は調整する可能性あり)			
	期日	内容	講師	会場
	10/30	看取りについて	医師ほか	市役所 101 会議室
	11/6	在宅医療で使用する様々な 物品・薬品など	薬剤師ほか	同上
	11/20	嚥下・オーラルケア	歯科医師ほか	同上
	12/4	在宅リハビリ	理学療法士 ほか	同上
	1/29	グリーフケア・家族支援	葬儀社・行政 など	同上
	2/12	入退院支援	看護師など	同上
実施	立川市・立川市医師会 (立川市医師会への委託事業)			

医療介護連携多職種研修”シンポジウム(1/11)・グループワーク(2/22)”開催予定	
目的	多職種が互いの制度や知識を理解し、課題について共通認識を深め、多職種が連携したサービス提供をスムーズに行えるようになる
内容	シンポジウム 日時: 令和 2 年 1 月 11 日(土)午後 2 時～4 時 会場: たましんリスルホール 小ホール テーマ: 企画 グループワーク 日時: 令和 2 年 2 月 22 日(土)午後 2 時～4 時 30 分 会場: 立川市役所 302 会議室 テーマ: 企画

	<p>地域課題対応: ①入退院連携に関する市外の病院との体制について ②地域包括支援センター・相談センターの機能強化について (居宅介護事業所との連携課題や要望等)</p>
<p>内容</p>	<p>介護予防業務連絡会・地域ケア会議などであがった、包括職員等からの下記の課題について、対応策を考えました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題① 在宅療養者の一時的な入退院に際し、他市の病院とは顔が見える関係性が構築されておらずスムーズに対応できない場合があった。市内の病院同様にスムーズに連携したい。</p> </div> <p>状況: →包括や近隣市の MSW が一同に会せる場所がほしいが、新たな会議体を設定するのは負担が増える。 既存の会議の場を活用し、MSW が集結できる場としたい。</p> <p>対応策: 立川市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会に近隣市の医療機関の MSW が参加</p> <p> 日時:11月22日(金)14時～16時 会場:立川市役所 302 会議室 目的:入退院支援をめぐり、市内の病院同様に、市外の病院とも良好な関係を構築し連携推進につなげたい</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>課題② 在宅療養者を直接支える者同士として、包括と居宅介護支援事業所の連携は不可欠であるが、全体として情報共有をする場が意外に少ない。互いがもつ有益な情報を共有したい。</p> </div> <p>対応策:立川市および近隣市の居宅介護支援事業所を対象に下記アンケートを行い、得られた結果を有益な情報として全包括で共有するとともに、協力いただいた事業所へ結果報告としてケアマネ連絡会等で周知する。</p> <p> a)在宅医療・介護連携に関して、地域包括支援センターとの連携課題や要望はありますか b)医療機関受診に際し、対応に困ったり悩んだケースはありますか、どのように対応しましたか c)立川市内外で訪問診療・往診をしてくれる病院やクリニックの情報はありますか d)この機会に、立川市に伝えたいことがあればお願いします</p>

協議事項

”看取るまでと看取った後の家族への支援”について	
目的	<p>立川市内で</p> <p>「今、介護をしている家族が、この先も前向きに患者の在宅療養を支えられるように」</p> <p>「介護を終えた家族が、環境の変化に対応し自分自身の生活再建を果たせるように」を</p> <p>念頭に置き、家族に対する適切な支援について検討する</p>
方法	<p>第1回(5/24) 委員からの課題表出</p> <p>①家族自身が負担に思っていること</p> <p>②委員がそれぞれの視点で「家族への支援が足りていない」と思うこと</p> <p>③「専門職が工夫できるのではないか」と思うこと</p>
課題	<p><u>議事録より</u></p> <p>①家族自身が負担に思っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(患者の)最期がどうなるのか想像できず不安を感じる (状態が変化した場合やいざという時に、入院できるのか) ・急な受診の際に付き添えない(認認・老老・障認介護、就労など) ・看取り時期は、家族も疲労が重なり神経が高ぶる、夫婦喧嘩もおこる ・看取り後の喪失感の大きさ <p>②委員がそれぞれの視点で「家族への支援が足りていない」と思うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病状の説明が十分ではない(今後どのように状態が変化するのか、の説明を家族が理解できていないのに説明を終えていることがある) ・看取り時期にも、家族はやむを得ない外出の機会があるが、不在に対応できるサービスが不足している ・レスパイト先・家族が困ったときの受け入れ先が不足している ・グリーンケアが不足している (そもそもグリーンケアを誰が主体になって行うか) (専門職も、グリーンケアを正しく理解していない場合がある) (利用者が死去しサービスは終了して、遺族と話す機会がない) (立川にあるグリーンケアの団体の周知がない) ・インフォーマルな社会資源の情報が不足している ・看取りを終えた家族の活躍の場(市民講座で体験を語るなど)があるといい ・寄り添ってくれる人(ボランティア)の存在(本人に寄り添う人も足りないが家族に寄り添う人も足りない)が不足している

③「専門職が工夫できるのではないか」ということ

- ・看取りに至る前の安心安全な医療体制の提供
(立川市以外からの訪問診療で、災害時等に対応が受けられず
体調悪化のリスクが高くなる 緊急対応が望めない状況に対して)
→専門職の研修の際などに、医療機関の選択に資する観点
を情報提供する
- ・医療者が一方的に「介護力がない」と判断し転院や施設に繋げている
→判断や意思決定支援をコメディカル全員で担当する
- ・本人や家族の意思と専門職の意向にギャップがないかの判断をする
→ギャップを見つけやすい職種・情報共有しやすい職種が
多職種間の情報共有を促進していく
- ・ボランティアの育成(本人や家族の心の痛みに寄り添う専門職)
→まずは医療・介護の専門職がボランティア養成する。ボランティア
はカンファレンスに参加し多職種に患者の側面情報を伝える
- ・退院支援や意思決定支援のサポートを、コメディカル一体となって行う
→療養生活をイメージしてもらうよう努める
- ・死への流れ・変化のイメージがつくような説明を行う(必要時は複数回)
→初めての説明では”積極的治療を終える”ことを家族が受け入れ
られないこともある
→変化のイメージが、1回の説明では想像できないこともあり、その
場では理解したように感じられても家族が覚えていられないこと
もある
- ・療養の場として、家族が在宅以外を選ぶことに罪悪感を持たないような
説明の工夫
→在宅を選ばなくてはならないような重圧感を与えない
- ・多職種がお互いの専門性を尊重している態度を家族の前で示す
→本人と家族に安心感を与える
- ・専門職が、介護する家族のはけ口となる
→レスパイト先が確保できない・サービス受入が難しい場合もある
- ・家族が仕事をやめようとするのを、専門職がとめる
→復職が困難であることを説明し、離職ではなく休暇取得などを
すすめる、相談窓口を提示する
- ・急な対応がありうることを想定し、リスク管理として事前に対応を
話し合っておく
- ・病院側の本人や家族の見立て(病状や予後の理解、在宅の生活環境、
今後の方向性)と在宅での本人の見立てに相違があった
→多職種も役割が違うゆえに把握の違いがあることを認識し、
相手の立場を想像して、本人・家族双方に望ましい状況にする

協議事項

”看取るまでと看取った後の家族への支援”について	
第3回 (11/29) 協議の 具体的 方法	委員からの表出された課題とケアマネ対象のアンケート結果をふまえて今後の立川市の在宅医療・介護連携の強化のためにどのような対応策があるかを協議する

《在宅で看取りをおこなう家族の介護に関するアンケート》 集計結果

立川市在宅医療・介護連携推進協議会

1、下記①～③に回答をお願いします(回答数 58名)

①あなたが現在所属されている事業所には、ケアマネジャーが何名在籍していますか？	常勤 1～6名	常勤以外 0～2名		
②あなたご自身の、ケアマネの経験年数は何年ですか？	3年未満 11名	5年未満 11名	10年未満 14名	10年以上 22名
③あなたが今までに、ケアマネとして利用者本人を在宅で看取った件数は何件ですか？(現在の事業所以外に所属していた期間も含む)	0件 10名	3件未満 9名	10件未満 25名	10件以上 14名

2、在宅で看取りを行う場合、看取った後に、家族にはどんな支援が必要ですか？
あなたの考えにあてはまるものに○をつけてください(複数回答可)。

支援項目の例	○と回答した人数	上位5位 ★
・看取りに至る前の安心安全な医療体制の提供に関する案内	46/58	★ 2位
・医師からの、予後の予測など病状についての丁寧な説明	53/58	★ 1位
・丁寧な退院支援(在宅療養生活がイメージできるようメディカル全員が支援)	41/58	★ 4位
・経済的支援(家族慰労金)	16/58	14位
・家族が不在の際に使える見守りサービスの紹介	30/58	8位
・家族会の案内やピアカウンセリングの紹介	23/58	10位
・レスパイト先(ショートステイ、入院等)の紹介	45/58	★ 3位
・地域のインフォーマルな資源情報の紹介	21/58	12位
・ボランティアなど、寄り添ってくれる人の紹介	18/58	13位
・療養生活中の変化(死への変化イメージ)への繰り返しの説明	36/58	★ 5位
・在宅療養以外の選択肢に罪悪感を持たないような説明の実施	31/58	6位
・多職種がお互いを尊重している態度を、本人・家族の前で示すこと	31/58	6位
・家族が介護離職をしようとしていたら休職等をすすめ、相談窓口を紹介	22/58	11位
・グリーンケア(ケアマネ自らが行く、立川にある団体等を紹介する、など)	25/58	9位
・生活再建(復職や再就労、ボランティアなど)の相談窓口の紹介	16/58	14位
・デスカンファレンスへの、家族としての参加の促し	14/58	16位
・看取りの体験談を演者として発表できるような場所の紹介	13/58	17位
・その他(自由記載)		

協議事項：“看取るまでと看取った後の家族への支援”に関する状況分析・協議

この用紙は、協議会終了後に事務局へご提出いただきます。お入り用の場合はコピーをとりお渡しいたしますので、当日お申し出ください。

在宅療養者を自宅で介護している家族や介護を終えた家族への支援として、立川市は、協議の結果、以下の2点を考えております。委員の皆様は下記にご意見をご記入ください。

1、市民向け事業の提案として

- ①令和2年度も看取り支援講演会の継続を計画します
- ②令和2年度は看取り支援フォーラム(新企画)を計画します
- ③レスパイト強化のため、生活支援ショートステイ事業をレスパイト目的でも使えるように、要綱改正と利用可能な方への制度の周知を計画します

2、専門職向け事業の提案として

令和元年度の協議結果として、以下の5点を、令和2年度以降の専門職研修等に反映します。

参考：家族への支援として必要と思われる内容 上位5位

- ①医師からの、予後の予測など病状についての丁寧な説明
- ②看取りに至る前の安心安全な医療体制の提供に関する案内
- ③レスパイト先（ショートステイ、入院等）の紹介
- ④丁寧な退院支援（療養生活がイメージできるようコメディカル全員で支援）
- ⑤療養生活中の変化（死への変化イメージ）の繰り返しの説明

意見記載欄

